

## Hop Step Jump

## 7

## 初任者研修第 7・8 回

## 中学校 授業づくり③④

## アンケートの感想から

色んな方の授業を同一課題で見学し、またご指導いただけたことは、とても貴重な機会となりました。同一課題なので、同じ部分でも先生方によって本当に分かれており、とても勉強になりました。それぞれの学校での生徒の様子も知ることが出来ました。また、このような取り組みを続けていくことは大切だと感じました。ありがとうございました。

8 月 8 日の研修は中学校の授業づくり研修。大教大附属池田中学校を会場に 1 日にわたって、それぞれ専門の教科に分かれての研修でした。今年は 2・3 年目の先生方にも希望を募り、参加いただきました。教科により人数や内容は異なりますが、午前中は附属中学校の先生方による模擬授業、午後は事前にお知らせした課題を使って模擬授業をしたり教材研究をしたりしました。1 学期をようやく終えるころに、研修のための課題をお知らせしました。学期末の忙しい中、準備は大変だったと思います。

模擬授業の準備などもあってとても気の重いものだと思いながらやって来たのですが、数少ない美術科の同期にも会うことができたし、中馬先生、大賀先生というすばらしい先輩のお話がきけたことでとても充実した時間になりました。今日、中馬先生のお話の中できいた「何を伸ばせたのかな？」という言葉にハッとしました。自分の立場をもっと大事にして生徒の力を伸ばすことにもっと力を注ぎたいと思います。

「何を伸ばせたのかな？」生徒をどう成長させるのか。学校の全ての教育活動において常に問いなおす必要のあるものです。教科目標にいかにか迫るのか。授業づくりではそのデザインが求められます。

模擬授業などを通して、授業の作り方、学習指導要領に基づいた評価をすることなど、学ぶところがたくさんあり、教材研究を深めていきたいと思いました。また、授業を見せていただき、とても勉強になりました。実践にいかしていきたいです。音楽の授業は幅広い視野を持って取り組むことができるので、今までの授業をより発展させていきたいです。

授業者のねらいや、生徒のレディネスによって授業のデザインは全く変わります。同じ教材でも扱い方は様々、そんな使い方もあったのかという発見もあります。指導案は授業者の意図を示す設計図。授業の目標、教材の扱いや解釈、生徒の様子などを授業の専門家として、しっかり記さなければなりません。

他の人の授業を見ることで、どのような工夫を取り入れたら生徒を引き付けられるのかなどを学ぶことができた。クイズであったり、地図、写真などの方法は様々であり、様々だからこそ、「こうしないと！」と悩む必要もないのだなと安心できた。グループワークの有効な使い方（グループにしないと考えられない発問をする）や先に選択肢を与えて考えさせるなどの方法はぜひ真似したいと思った。

教材研究を深く進め、適切な教授方法（ペタゴジー）を身に付けることが、私たちには不可欠です。また、それが有効であったのかどうかを検証（評価）することも必要でしょう。

今日は午前中に石川先生の模擬授業を見せていただいて、とても勉強になりました。まずはテンポの良さが私の授業とは違うところでした。ひとつひとつの説明を少ない言葉で、でも正確に伝えられていて、テンポも速いので、子どもたちは聞き逃さないように、一生懸命耳を傾けるのではないかと思います。午後は、初任の先生方の授業をみてたくさんのことを学び、2 学期からの授業に活かしていきたいと思いました。

大変な 1 日だったと思いますが、授業づくりのおもしろさや、難しさを味わえたでしょうか。附属中の先生方の質の高い、真摯な取り組みに大いに学んだ 1 日でした。

1 学期を通して、「おもしろい授業」とは何か、毎日試行錯誤しながら臨みながらもできなかったことが、すごく簡単に解決した 1 日でした。やはり一人の視点だけでは限界があると思ったので、市教研にも参加しながら勉強していきたいです。今日、お話をいただいた先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

